

**STAMPING INK FOR TRACING PAPER AND STAMP PAD  
IMPREGNATED WITH SAID STAMPING INK FOR TRACING PAPER**

Patent Number: JP56139571  
Publication date: 1981-10-31  
Inventor(s): FUKUTANI YUTAKA  
Applicant(s): FUKUTANI KOGYOSHO:KK  
Requested Patent: ☐ JP56139571  
Application Number: JP19800043801 19800402  
Priority Number(s):  
IPC Classification: C09D11/00  
EC Classification:  
Equivalents: JP1177023C, JP58006753B

**Abstract**

**PURPOSE:** To provide the titled ink which is not transferred to other paper and does not blur the writing, containing a nonionic or an anionic surfactant, fat and oil composed mainly of a higher fatty acid glyceride and an inorg. pigment and additionally a lower aliphatic alcohol.

**CONSTITUTION:** There is provided a stamping ink containing 0.5-10wt% nonionic or anionic surfactant (A), 50-90wt% vegetable or animal fat and oil composed mainly of a 10-18C prim. higher alcohol, a 15C or higher fatty acid glyceride or a 15C or higher fatty acid higher alcohol ester (B), 8-20wt% inorg. pigment (C) and additionally 3-6wt% 1-4C prim. or sec. aliphatic alcohol or 2-8wt% 3-9C aliphatic ketone (D). The writing is not blurred by water. The ink is not erased with an ink eraser, has excellent light resistance and chemical resistance, and is not transferred to other paper, etc. When the ink is stamped on a tracing paper, the ink can be erased with conventional erasers.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭56-139571

⑬ Int. Cl.<sup>3</sup>  
C 09 D 11/00  
// B 41 K 1/54

識別記号  
1 0 3

庁内整理番号  
7455-4 J  
6951-2 C

⑭ 公開 昭和56年(1981)10月31日

発明の数 2  
審査請求 有

(全 5 頁)

⑮ トレッシングペーパー用スタンプインキおよび  
同トレッシングペーパー用スタンプインキを含  
浸したスタンプ台

東京都台東区蔵前4丁目20番12  
号

⑯ 出 願 人 株式会社福谷工業所  
東京都台東区蔵前4丁目20番12  
号

⑰ 特 願 昭55-43801

⑱ 出 願 昭55(1980)4月2日

⑲ 代 理 人 弁理士 杉山泰三

⑳ 発 明 者 福谷豊

明 細 書

発明の名称 トレッシングペーパー用スタンプ  
インキおよび同トレッシングペーパー  
用スタンプインキを含浸したスタ  
ンプ台

一箱に含有しかつ付加的に炭素原子1個~4  
個を有する第一又は第二脂肪酸アルコール3  
%~6%重量%又は炭素原子3個~9個を有  
する脂肪族ケトン2%~8%重量%を含有す  
ることを特徴とするトレッシングペーパー用ス  
タンプインキ。

特許請求の範囲

1. 非イオン系界面活性剤又は陰イオン系界面活  
性剤0.5%~10%重量%を含有し炭素原  
子10~18個を有する第一高級アルコール  
又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸  
グリセリド又は炭素原子15個以上を有する  
高級脂肪酸高級アルコールエステルを主成分  
とする植物性又は動物性油脂50%~90%  
重量%および無機顔料8%~20%重量%を

2. 非イオン系界面活性剤又は陰イオン系界面活  
性剤0.5%~10%重量%を含有し炭素原子  
10~18個を有する第一高級アルコール又  
は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸グ  
リセリド又は炭素原子15個以上を有する高  
級脂肪酸高級アルコールエステルを主成分と  
する植物性又は動物性油脂50%~90%重  
量%および無機顔料8%~20%重量%を一

籍に含有しかつ付加的に炭素原子1個〜4個を有する第一又は第二脂肪酸アルコール3%〜6%重量%又は炭素原子3個〜9個を有する脂肪酸ケトン2%〜8%重量%を含有したトレシグペーパー用スタンプインキを含浸したことを特徴とするスタンプ台。

#### 発明の詳細な説明

本発明は白サブ、プラスチック消ゴム等の一般市販の消ゴムを以て簡単に消去することができるトレシグペーパー用スタンプインキおよび同トレシグペーパー用スタンプインキを含浸したスタンプ台に関するものである。

従来、この種のスタンプインキは水性・油

原子15個以上を有する高級脂肪酸グリセリド又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸の高級アルコールエステルを主成分とする植物性又は動物性油脂50%〜90%重量%と非イオン系界面活性剤又は陰イオン系界面活性剤0.5%〜10%重量%および無機顔料8%〜20%重量%を含有させることにより解決でき、植物性又は動物性油脂を入れることにより押印される紙面にうすい層をつくりその作用によつて消ゴムで消去することが出来る。また炭素原子1個〜4個を有する第一又は第二脂肪酸アルコール3%〜6%重量%又は炭素原子3個〜9個を有する脂肪酸ケトン2%〜8%重量%は溶状の粘性を低下させるために加えかつフェルトもしくは弾性体に

特開昭56-139571(2)

性>含浸のスタンプ台を用いてトレシグペーパーに押印した後に於て消去したい場合にはインキ消又は砂消しゴムを用いて消去していたが完全に消去せしめることが困難でありかつ消去する紙が薄くなり破れたりする等の弊があつた。

本発明は斯る欠陥を解消せんとするものであつて、押印したものは後に一般市販の消ゴム(白サブ、プラスチック消ゴム)等を以て簡単に消去できる安定なトレシグペーパー用スタンプインキおよびトレシグペーパー用スタンプインキを含浸したスタンプ台を提供するものである。

即ち、上記の如き欠陥は炭素原子10個〜18個を有する第一高級アルコール又は炭素

含浸させ易くするために使用しかつ含浸せしめた後蒸発されインキ濃度が増加されるのである。

尚、本発明の実施例は

- ①、無機顔料 540g<無機顔料30%を含有する植物性油>
  - ②、炭素原子8〜18個第一高級アルコール 高級脂肪酸グリセリド 3,600g
  - ③、非イオン界面活性剤 60g
  - ④、炭素原子3〜9個脂肪酸ケトン 230g
  - ⑤、1個〜4個 第一又は第二脂肪酸ケトン 200g
- ①〜⑤までを混合攪拌せしめてトレシグペーパー用スタンプインキを完成し、また同インキをスタンプ台本体のフェルトに含浸せしめてスタンプ台を完成する。

# 手続補正書

特開昭56-139571(3)

訂正明細書

昭和55年5月6日

特許庁長官 川原能雄 殿

発明の名称 スタンブインキおよび同スタンブ  
インキを含浸したスタンブ台

## 1. 事件の表示

昭和55年 特 許 願 第 43801 号

2. 発明の名称 スタンブインキおよび同スタンブインキ  
を含浸したスタンブ台

## 3. 補正をする者

特 許 出 願 人

東京都台東区蔵前4丁目20番12号

株式会社 福谷工業所

代表取締役 福 谷 豊

## 4. 代理人

東京都台東区蔵前4丁目9番10号

(6089) 弁理士 杉 山 泰 三

5. 補正の対象 明 細 書

6. 補正の内容 別紙の通り

## 特許請求の範囲

1. 非イオン系界面活性剤又は陰イオン系界面活性剤0.5%~10%（重量%）を含有し炭素原子10~18個を有する第一高級アルコール又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸グリセリド又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸高級アルコールエステルを主成分とする植物性又は動物性油脂50%~90%（重量%）および無機顔料8%~20%（重量%）を一括に含有しかつ付加的に炭素原子1個~4個を有する第一又は第二脂肪酸アル

コール3%~6%（重量%）又は炭素原子3個~9個を有する脂肪族ケトン2%~8%（重量%）を含有することを特徴とするスタンブインキ。

ルコール3%~6%（重量%）又は炭素原子3個~9個を有する脂肪族ケトン2%~8%（重量%）を含有したスタンブインキを含浸したことを特徴とするスタンブ台。

## 2. 非イオン系界面活性剤又は陰イオン系界面活

性剤0.5%~10%（重量%）を含有し炭素原子10~18個を有する第一高級アルコール又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸グリセリド又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸高級アルコールエステルを主成分とする植物性又は動物性油脂50%~90%（重量%）および無機顔料8%~20%（重量%）を一括に含有しかつ付加的に炭素原子1個~4個を有する第一又は第二脂肪酸ア

## 発明の詳細な説明

本発明はスタンブインキおよびスタンブインキを含浸したスタンブ台に関するものであつて、非イオン系界面活性剤又は陰イオン系界面活性剤0.5%~10%（重量%）を含有し炭素原子10~18個を有する第一高級アルコール又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸高級アルコールエステルを主成分とする植物性又は動物性油脂50%~90%（重量%）および無機顔料8%~20%（重量%）を一括に含有しか

つ付加的に炭素原子1個～4個を有する第一又は第二脂肪酸アルコール3%～6%（重量%）又は炭素原子3個～9個を有する脂肪族ケトン2%～8%（重量%）を含有することを要旨(A)とし、また非イオン系界面活性剤又は陰イオン系界面活性剤0.5%～10%（重量%）を含有し炭素原子10～18個を有する第一高級アルコール又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸グリセリド又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸高級アルコールエステルを主成分とする植物性又は動物性油脂50%～90%（重量%）および無機顔料8%～20%（重量%）を一緒に含有しかつ付加的に炭素原子1個～4個を有する第一又は第二脂肪酸アルコール3%～6%（重量%）又は炭素原子3個～9個を有

ルエーテル類3%～6%（重量%）を含有することを要旨(B)とし、また非イオン系界面活性剤又は陰イオン系界面活性剤0.5%～10%（重量%）を含有し炭素原子10～18個を有する第一高級アルコール又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸グリセリド又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸高級アルコールエステルを主成分とする植物性又は動物性油脂50%～90%（重量%）および無機顔料又は油溶染料8%～20%（重量%）を一緒に含有しかつ付加的に炭素原子1個～4個を有する第一又は第二脂肪酸アルコール3%～6%（重量%）又は炭素原子3個～9個を有する脂肪族ケトン2%～8%（重量%）又は炭素原子3個以上を有するグリコールエーテル類3%～6%（重量

する脂肪族ケトン2%～8%（重量%）を含有したスタンプインキを含まれたことを要旨(B)とし、更に非イオン系界面活性剤又は陰イオン系界面活性剤0.5%～10%（重量%）を含有し炭素原子10～18個を有する第一高級アルコール又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸グリセリド又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸高級アルコールエステルを主成分とする植物性又は動物性油脂50%～90%（重量%）および無機顔料又は油溶染料8%～20%（重量%）を一緒に含有しかつ付加的に炭素原子1個～4個を有する第一又は第二脂肪酸アルコール3%～6%（重量%）又は炭素原子3個～9個を有する脂肪族ケトン2%～8%（重量%）又は炭素原子3個以上を有するグリコー

多）を含有したスタンプインキを含まれたことを要旨(B)とするものである。

従来、この種のスタンプインキ（水性）は捺印後に水に浸する染料がにじみ出て文字が不鮮明になつたり薄くなつたりすることがあり、又インキ消して消滅される危険があり、更に耐光性耐薬品に劣ると共に捺印後の紙への滲透が遅いため他の紙に対して転写する危険性がある等の弊があつた。

本発明の課題は斯る欠陥を解消することにより、文字が水によりにじまなく、薄くならなく、インキ消して消滅しなく而かも耐光性耐薬品に優れていると共に他の紙等に対する転写の危険がないようにしたものである。

即ち、上記の如き欠陥は炭素原子10～18

個を有する第一高級アルコール又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸グリセリド又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸の高級アルコールエステルを主成分とする植物性又は動物性油脂50%〜90%（重量%）と非イオン系界面活性剤又は陽イオン系界面活性剤0.5%〜10%（重量%）および無機顔料（油溶染料を含む場合もある）8%〜20%（重量%）を含むことにより解決でき、また炭素原子1個〜4個を有する第一又は第二脂肪族アルコール3%〜6%（重量%）又は炭素原子3個〜9個を有する脂肪族ケトン2%〜4%（重量%）および炭素原子3個以上を有するグリコールエーテル類3%〜6%（重量%）は溶状の粘性を低下させるために加えかつフェルトもしくは弾

- (1)' 無機顔料 540g <無機顔料30%を含有する植物性>  
 (2)' 油溶染料 20g  
 (3)' 炭素原子8〜18個 第一高級アルコール 高級脂肪族グリセリド 3,600g  
 (4)' 非イオン系界面活性剤 60g  
 (5)' 炭素原子3〜9個 脂肪族ケトン 200g  
 (6)' 炭素原子1〜4個 第一又は第二脂肪族ケトン 200g  
 (7)' 炭素数 3以上 グリコールエーテル類 100g  
 (1)'〜(7)' までを混合撹拌せしめてスタンブインキを完成し、また同インキをスタンブ台本体のフェルトに含浸せしめてスタンブ台を完成する。

因に、上記の要旨(Ⅳ)(Ⅴ)による実施例に於けるスタンブインキはトレーシングペーパーに押印

特開昭56-139571(5)

性体に含浸させ易くするために使用しかつ含浸せしめた後蒸発されインキ濃度が増加されるのである。

尚、上記の要旨(Ⅳ)(Ⅴ)による実施例は

- (1)、無機顔料 540g <無機顔料30%を含有する植物性油>  
 (2)、炭素原子8〜18個 第一高級アルコール 高級脂肪酸グリセリド 3,600g  
 (3)、非イオン系界面活性剤 60g  
 (4)、炭素原子3〜9個 脂肪族ケトン 230g  
 (5)、1個〜4個 第一又は第二脂肪族ケトン 200g  
 (1)〜(5)までを混合撹拌せしめてスタンブインキを完成し、また同インキをスタンブ台本体のフェルトに含浸せしめてスタンブ台を完成し、  
 また、上記の要旨(Ⅳ)(Ⅴ)による実施例は

した場合には一般に市販されている普通の消ゴムを以て簡単に消去することができる。

特許出願人 株式会社福谷工業所

代理人 弁理士 杉 山 泰 三